

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
 (仮称)柏の葉キャンパス新技術センター計画 C1棟 新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		竣工段階						
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								3.9
Q1 室内環境					0.40		-	4.0
1 音環境				4.2	0.15	-	-	4.2
1.1 室内騒音レベル		事務室NC-40		4.0	0.40	3.0	-	
1.2 遮音				5.0	0.40	-	-	
1		開口部遮音性能		5.0	0.60	3.0	-	
2		界壁遮音性能		5.0	0.40	3.0	-	
3		界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
4		界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音				3.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境				3.7	0.35	-	-	3.7
2.1 室温制御				3.8	0.50	-	-	
1		室温		3.0	0.38	3.0	-	
2		外皮性能		5.0	0.25	3.0	-	
3		ゾーン別制御性		4.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御				3.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式		床吹出空調		4.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境				4.3	0.25	-	-	
3.1 昼光利用				3.4	0.30	-	-	
1		昼光率		3.0	0.60	3.0	-	
2		方位別開口		-	-	3.0	-	
3		昼光利用設備		4.0	0.40	3.0	-	
3.2 グレア対策				5.0	0.30	-	-	
1		昼光制御		5.0	1.00	3.0	-	
3.3 照度		500lx		4.0	0.15	3.0	-	
3.4 照明制御		明るさセンサー		5.0	0.25	3.0	-	
4 空気質環境				4.0	0.25	-	-	4.0
4.1 発生源対策				4.0	0.50	-	-	
1		化学汚染物質		4.0	1.00	3.0	-	
4.2 換気				3.3	0.30	-	-	
1		換気量		4.0	0.33	3.0	-	
2		自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-	
3		取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-	
4.3 運用管理				5.0	0.20	-	-	
1		CO <sub>2</sub> の監視		5.0	0.50	-	-	
2		喫煙の制御		5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	4.0
1 機能性				3.7	0.40	-	-	3.7
1.1 機能性・使いやすさ				2.3	0.40	-	-	
1		広さ・収納性		3.0	0.33	3.0	-	
2		高度情報通信設備対応		3.0	0.33	3.0	-	
3		バリアフリー計画		1.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性				5.0	0.30	-	-	
1		広さ感・景観		5.0	0.33	3.0	-	
2		リフレッシュスペース		5.0	0.33	-	-	
3		内装計画		5.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理				4.5	0.30	-	-	
1		維持管理に配慮した設計		5.0	0.50	-	-	
2		維持管理用機能の確保		4.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性				4.5	0.30	-	-	4.5
2.1 耐震・免震・制震・制振				5.0	0.50	-	-	
1		耐震性(建物のこわれにくさ)		5.0	0.80	-	-	
2		免震・制震・制振性能		5.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.6	0.30	-	-	
1		躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2		外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-	
3		主要内装仕上げ材の更新必要間隔		5.0	0.10	-	-	
4		空調換気ダクトの更新必要間隔		5.0	0.10	-	-	
5		空調・給排水配管の更新必要間隔		5.0	0.20	-	-	
6		主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性				4.8	0.20	-	-	
1		空調・換気設備		5.0	0.20	-	-	
2		給排水・衛生設備		4.0	0.20	-	-	
3		電気設備		5.0	0.20	-	-	
4		機械・配管支持方法		5.0	0.20	-	-	
5		通信・情報設備		5.0	0.20	-	-	

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.9</b>	0.30	-	-	<b>3.9</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>4.6</b>	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高: 3.9m	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率: 0.15	4.0	0.40	3.0	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>		床積載荷重 (4900N/m <sup>2</sup> )、大梁・柱・地震用: 基準法に対する割増なし	<b>4.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.4</b>	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	OAフロア・ケーブルラックの採用	5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	OAフロア・ケーブルラックの採用	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.7</b>
1	生物環境の保全と創出	敷地周辺の生物環境の立地特性の把握・計画方針の設定	<b>4.0</b>	0.30	-	-	<b>4.0</b>
2	まちなみ・景観への配慮	周辺へのまちなみ調和に配慮した景観計画	<b>4.0</b>	0.40	-	-	<b>4.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		<b>3.0</b>	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.6</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>3.6</b>
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPI=0.85	<b>4.5</b>	0.20	-	-	<b>4.5</b>
2	自然エネルギー利用	ハイサイドライトを採用	<b>4.0</b>	0.10	-	-	<b>4.0</b>
3	設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = 0.81	<b>2.9</b>	0.50	-	-	<b>2.9</b>
<b>4 効率的運用</b>			<b>4.5</b>	0.20	-	-	<b>4.5</b>
集合住宅以外の評価			<b>4.5</b>	1.00	-	-	
4.1	モニタリング	中央監視/BEMS、熱源機COP・熱源システムCOP・熱媒搬送WTF評価	5.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	運用管理体制を組織化し、エネルギー消費量の目標値を設	4.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>4.0</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.4</b>	0.20	-	-	<b>3.4</b>
1.1	節水	節水コマ、自動水栓に加えて省水型機器を過半に採用	<b>4.0</b>	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			<b>3.0</b>	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>4.3</b>	0.60	-	-	<b>4.3</b>
2.1	材料使用量の削減	キャブリングパイル工法、デッキ合成スラブ、機械式継手の採用など	5.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	鉄骨梁等に電炉鋼を使用	5.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	屋内用品(床材)、外装材、路盤材	5.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	LGS工法、OAフロアの採用	5.0	0.20	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.7</b>	0.20	-	-	<b>3.7</b>
3.1	有害物質を含まない材料の使用	ケミクリーTE(有害物質を含まない材料)の採用	<b>4.0</b>	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			<b>3.6</b>	0.70	-	-	
1	消火剤	窒素消火	4.0	0.33	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	押出法ポリスチレンフォーム(ODP=0、DWP=3)	4.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.3</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		BEI=0.70	<b>3.6</b>	0.33	-	-	<b>3.6</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>3.4</b>	0.33	-	-	<b>3.4</b>
2.1	大気汚染防止	NOx排出濃度がガイドラインの90%以下	<b>4.0</b>	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		<b>3.0</b>	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			<b>3.7</b>	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減	必要貯留量より多く貯留できる計画としている	4.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	適切な量の駐輪場や駐車場の確保など	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	ゴミのストックスペースの確保、ゴミ分別容器の設置など	4.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.33	-	-	<b>3.0</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	